

みんなで地域づくり事業企画書

団体名	四街道グルメチックフェスティバル実行委員会 A n i m o ・ w a	
事業名	四街道 2016 グルメチックフェスティバル	
目的・必要性	全国に誇れるグルメを探索・創出することで、イベント後も飲食店の売り上げの向上や来店者同士や店主・店員との交際により、食を通じた話題の提供・人的交流の機会を増やし、希薄になってきているご近所付き合いを復活、「楽しい街」「安全で暮らしやすい街」のイメージを、回を重ねることで定着させ、市外からのイベント来場者を増やすことで対外的にもアピールしていきたい。また、地域の活性化、四街道市の知名度向上に繋げる。	
内容	飲食店による屋台販売。複数の飲食物の提供の他、各店舗 500 円程度の自慢の 1 品をグルメチックフェスティバルの「味」として出品してもらい、来場者の投票でグランプリを選出するコンテストを中心として開催する。また、広めの飲食スペースを設け、食べたものの感想や実店舗の場所、同時開催の「よさこい」の情報提供等、スタッフから積極的に声をかけることにより、来場者同士が会話をしやすい雰囲気を作り、市民交流の場としても活用できるよう準備する。	
スケジュール	時期	具体的な取組
	5月	ポスター・チラシ原案作成。出店者への依頼活動開始。道路使用に関する手続開始。共催団体との打ち合わせ
	8月	当日配布物・賞品等の制作・発注。出店者の最終選定。
	9月	共催団体との最終確認。ボランティアスタッフ・出店者に対する説明会。25日(日)開催予定。
役割分担の想定	(団体の役割) イベントの企画・運営・広報活動。各種申請・届出等。	
	(市の役割) 県下、主に印旛郡市の役所を通じての広報。 会場提供・情報提供。 イベント後の廃棄物処理(ごみ収集)の協力。	
他団体との連携	「よさこい道」との共催を予定。	
期待される成果	今年度 9 月 27 日にテスト開催した同フェスティバル 2015 では延 5000 人の来場者（1 店舗当たり約 300～400 人）により、赤字店舗は出ていない。来年度は来場者 1 万人を目標に広報活動を強化し、イベント後、グルメチックフェスティバルの「味」を求めて、市内外からの市内飲食店への来客数増加による経済効果を期待する。普段の落ち着いた住宅街や日常の買い物等の利便性も目にしてもらえば市外の方にも四街道市の「住みやすさ」も伝わるのではないだろうか。また、食目的の来場者が「よさこい道」に触れること、よさこい道の踊り子や演舞を観るために足を運んだ人がグルメチックの「味」を口にすることで新しい興味を感じてもらおうクロスオーバー効果もあると思われる。	

備考

- 「役割分担の想定」のうち（市の役割）は、事業形態がサポート型にあつては、役割がある場合に記載してください。
- 「期待される効果」は、数値等を記載してください。